

## ■ 会社概要 (2014年3月31日現在)

会社名	株式会社マーベラスAQL
証券コード	7844
設立	1997年6月25日
資本金	1,128百万円
本社所在地	東京都品川区東品川4丁目12番8号 品川シーサイドイーストタワー5階
事業内容	オンラインゲームの企画・開発・制作・販売 家庭用ゲームソフトの企画・開発・制作・販売 音楽・映像コンテンツの企画・制作・販売 劇場演芸の興行
従業員数	451名(連結)
グループ会社	株式会社エンタースフィア 株式会社デルファイサウンド Marvelous USA, Inc. MAQL Europe Limited 株式会社アートランド 株式会社リンクシンク

## ■ 役員 (2014年6月23日現在)

代表取締役会長 CEO	中山 晴喜
代表取締役社長 執行役員 COO	許田 周一
取締役副社長 執行役員 DeptCOO	青木 利則
取締役 執行役員	松本 慶明
取締役 執行役員	山口 善輝
取締役 執行役員 CFO	加藤 征一郎
取締役(社外)	中村 俊一
取締役(社外)	久多良木 健
常勤監査役	名子 俊男
監査役(社外)	辻 勇
監査役(社外)	西 巖
監査役(社外)	西村 勝彦

## 株式会社マーベラスAQL

〒140-0002 東京都品川区東品川4丁目12番8号  
品川シーサイドイーストタワー5階  
URL: <http://www.marv.jp/> (7月1日以降)  
<http://www.maql.co.jp/> (6月30日まで)

# Business Report



## 株式会社マーベラスAQL

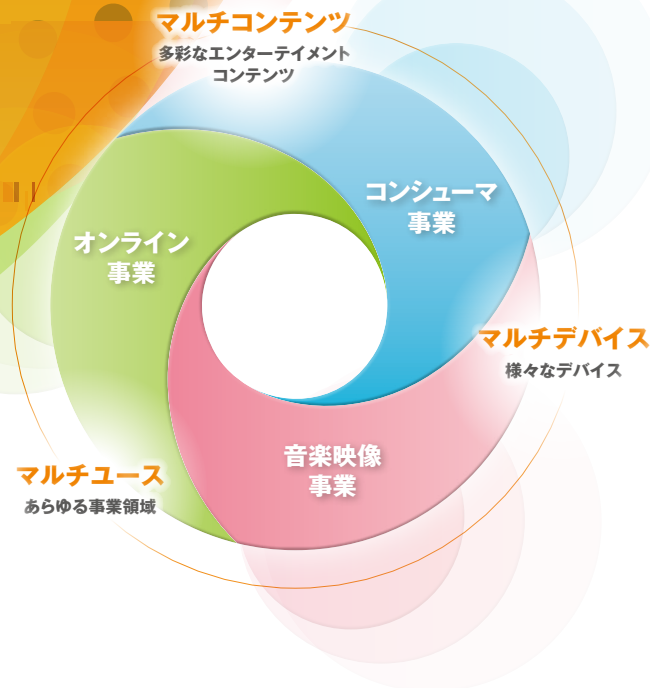
2014年3月期(第17期)事業報告書

2013年4月1日~2014年3月31日

東証第一部 7844

「多彩なエンターテインメントコンテンツ」を  
「あらゆる事業領域」において  
「様々なデバイス」向けに展開する

## 総合エンターテインメント企業



MarvelousAQL

### 経営理念

「驚き」と「感動」を世界に届ける  
新しいエンターテインメントの創造

私たちは、あらゆる娯楽の要素を融合させた新しいエンターテインメントの創造により、  
世界の人々に「驚き」と「感動」を届ける企業として、誰もが夢見る楽しい未来の創造に貢献します。

### Mission

Excite Our Customers. Create Our Future.

### Vision

世界を驚愕させるコンテンツプロバイダーになる

### Contents

02	トップメッセージ
03	<b>特集</b> 新生マーベラス ～2ndステージスタート～
07	連結業績ハイライト
09	事業別の業績と今後の展開
12	連結財務諸表(要約)
13	マーベラスひろば
14	株式情報
裏表紙	会社概要

## Top Message

トップメッセージ

新生マーベラスとして  
更なる飛躍を目指します



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当社が属するエンターテインメント業界の市場環境は目まぐるしく変化しており、デバイスを問わずにエンターテインメントコンテンツを楽しむことが出来る環境が急速に整備され、「どのようなエンターテインメントコンテンツをどのように供給してゆくのか」が問われています。  
このような環境の中、2014年3月期は、当社の強みである「マルチコンテンツ・マルチユース・マルチデバイス」を基軸とした事業戦略を積極的に推進し、市場環境にフォーカスしたエンターテインメントコンテンツを、多様なアプローチで市場へと供給いたしました。その結果、2014年3月期の業績は、売上高20,330百万円、営業利益3,006百万円、経常利益3,041

百万円と前期を大きく上回る成果を残すことができました。  
本年4月、企業競争力の更なる向上を目指しCEO体制に移行いたしました。また、7月1日をもって社名を株式会社マーベラスAQLから株式会社マーベラスに変更いたします。  
経営統合から今日に至るまで統合効果の早期創出にむけてさまざまな施策に取り組んだ結果、3社の融合は完了し、今後は新生マーベラスとして、全社一丸となって、更なる飛躍を目指してまいります。  
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2014年6月 吉日

### 配当について

当社では、将来の事業拡大と財務体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、配当性向30%以上を目標に、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。  
この方針に基づき、2014年3月期の配当金は13円とさせていただきます。なお、2015年3月期の配当金は、2円増配の15円を予定しております。

※2013年3月期以前の数値につきましては、2013年10月1日に効力が発生した普通株式1株を100株とする株式分割を勘案した数値を掲載しております。

(単位:円)

年	年間配当	普通配当	記念配当	配当性向
2012年3月期	6.05	0.80	5.25	5.6%
2013年3月期	12.50	0.50	12.00	34.8%
2014年3月期	13.00	-	-	36.9%
2015年3月期(予想)	15.00	-	-	35.3%

# 新生マーベラス

## ～2ndステージスタート～

経営統合から約3年、3社の融合は完了し、社名も一新して、新たなステージへ。更なる飛躍を目指してまいります。

ゲーム業界がスマートフォンの浸透などにより大きく変化する中、当社が展開する3つの事業は、既存タイトル強化、新規IP創出の両面において堅調に事業規模を拡大しております。総合エンターテインメント企業の強みを活かし、バランスの取れた事業ポートフォリオを構成し、おかげさまで統合以来年率約20%の成長を続けております。

3社の統合は順調に進捗し、更なる成長への基盤が完成しました。今後は、大きな飛躍に向け積極展開してまいります。

「強力なIPの創出・育成」と  
「総合エンターテインメント企業」の強みを活かし

融合から  
更なる付加価値創出へ  
積極的にチャレンジし、  
大きく飛躍します

「マルチコンテンツ・マルチユース・マルチデバイス」を基盤とした  
オンリーワンの総合エンターテインメント企業  
エンターテインメントコンテンツの様々な側面を  
カバーする強力なバリューチェーンを構築

3社が培った強みを  
最大限に活用し、  
シナジーを追求

2012年3月期 業績\*  
売上高 144億円  
営業利益 14億円  
営業利益率 10.0%

売上高  
41%  
UP

営業利益  
108%  
UP

営業利益率  
4.8%  
UP

2014年3月期 業績  
売上高 203億円  
営業利益 30億円  
営業利益率 14.8%

※単純合算数値

統合以降2期の業績変化

2011年10月  
株式会社マーベラスAQL  
誕生



株式会社マーベラスエンターテインメント



株式会社AQインタラクティブ



株式会社ライブウェア

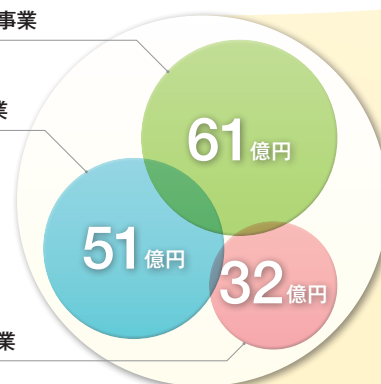


■ 売上構成

● オンライン事業

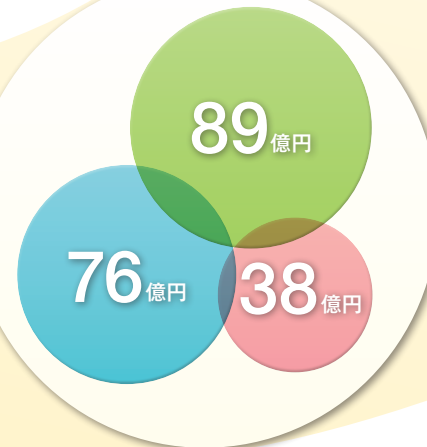
● コンシューマ事業

● 音楽映像事業



2012年3月期

2012年11月  
東証第1部に上場



2014年3月期

MARVELOUS!

2014年7月  
新生マーベラス  
～2ndステージスタート～

## 社名変更

当社は、2014年7月1日、ブランド力の強化を図るため、これまで当社の呼称として定着し、多くのお客様に親しみを持って頂いている「マーベラス」をそのまま商号とする「株式会社マーベラス」として、新たな一歩を踏み出します。



現商号

株式会社マーベラスAQL  
(英文表記:Marvelous AQL Inc.)

2011年10月の経営統合以降、統合効果の早期創出に向けて、当社はさまざまな施策に取り組んでまいりました。

統合から約3年が経過した現在、3社の融合は完了し、大きな飛躍への基盤が完成いたしました。

右ページのとおり、2014年4月1日にCEO体制へも移行しており、今後は、更なる企業価値の向上を目指し、本年7月1日より株式会社マーベラスとして、新たな一歩を踏み出します。

新生マーベラスの今後にどうぞご期待ください。

新商号

株式会社マーベラス  
(英文表記:Marvelous Inc.)

新社名について

マーベラス(Marvelous)は、英語で「驚くべき、すばらしい」を意味します。マーベラスには、「驚き」と「感動」を世界に届ける新しいエンターテインメントの創造という経営理念への熱き思いが込められています。

## 経営体制

### CEO体制に移行 企業競争力の更なる向上へ

2014年4月1日、経営と業務執行の責任と権限の明確化を図るため、CEO・COO体制に移行いたしました。

迅速かつ確かな意思決定と業務執行により、企業競争力の更なる向上を目指してまいります。

代表取締役会長 CEO	中山 晴喜
代表取締役社長 執行役員 COO	許田 周一
取締役副社長 執行役員 DeptCOO デジタルコンテンツ事業本部長 兼 オンラインコンテンツ事業部長	青木 利則

「強力なIPの創出・育成」と「総合エンターテインメント企業」の強みを活かした戦略を強化・拡大・スピードUPし、事業拡大と収益性の向上を目指します。

強化・拡大・スピードUP

2nd Stage

重点的取り組み

- フラグシップタイトルの創出
- モバイル事業の拡充
- 海外事業強化
- 事業間シナジーと水平展開の促進
- アライアンス戦略強化
- 開発体制強化
- マルチ戦略の実施
- 「オリジナリティー」の追求
- 新規事業の創出

# 連結業績ハイライト

## ■ 当期(2014年3月期)の業績

当社が属するエンターテインメント業界では、スマートフォンの急速な普及により、スマートフォンゲーム市場が急拡大いたしました。特に、App StoreやGoogle Playといったアプリマーケットの成長には著しいものがありました。家庭用ゲーム市場におきましては、新型の据え置き型ゲーム機「PlayStation 4」が、先行発売された欧米に続き、国内でも非常に好調なスタートとなりました。アーケードゲーム市場につきましては、全体の市場規模が年々減少している中にもありながらも、キッズ向けアーケードゲームに関しましては、続々と新作が発表されており、盛り上がりを見せております。音楽・映像市場におきましては、スマートフォンの浸透に伴う無料動画サイト等の充実から、ソフト市場は依然として厳しい環境下にあります。一方で、会場の雰囲気や一体感を楽しむことができるライブエンターテイン

トの市場規模は、着実に拡大してきております。

このような状況下、当社は、多彩なエンターテインメントコンテンツをあらゆる事業領域において様々なデバイス向けに展開する「マルチコンテンツ・マルチユース・マルチデバイス」戦略を掲げ、総合エンターテインメント企業として、強力なIPを中核とするブランディング戦略・アライアンス戦略・グローバル戦略を積極的に推進し、話題性の高いコンテンツの提供とサービスの強化に取り組んでまいりました。

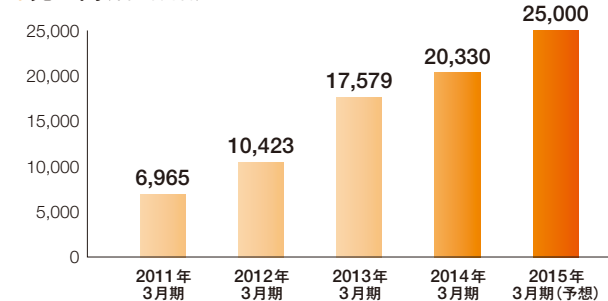
この結果、当期(2013年4月1日～2014年3月31日)の業績は、売上高20,330百万円(前期比15.6%増)、営業利益3,006百万円(前期比29.0%増)、経常利益3,041百万円(前期比30.8%増)、当期純利益1,882百万円(前期比1.9%減)となりました。

## ■ 次期(2015年3月期)の見通し

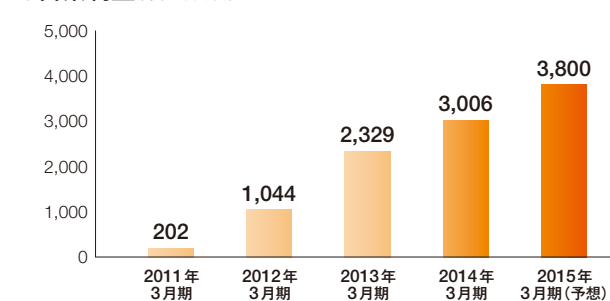
次期の事業展開につきましては、当期に引き続きコンシューマ事業及び音楽映像事業を維持成長させるとともに、オンライン事業におきましては、好調タイトルの運営強化と新たなアプリゲーム開発に最大注力する所存であります。

以上の取り組みにより、次期の連結業績につきましては、売上高25,000百万円、営業利益3,800百万円、経常利益3,790百万円、当期純利益2,274百万円を見込んでおります。

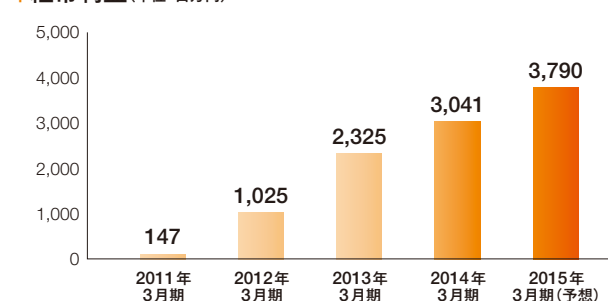
売上高(単位:百万円)



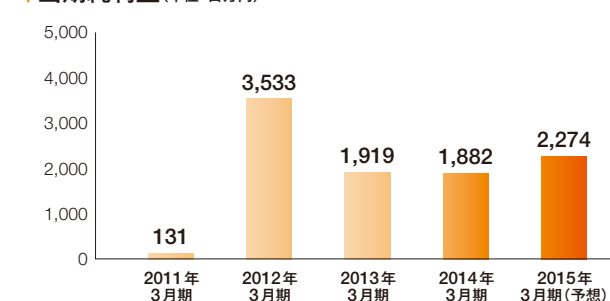
営業利益(単位:百万円)



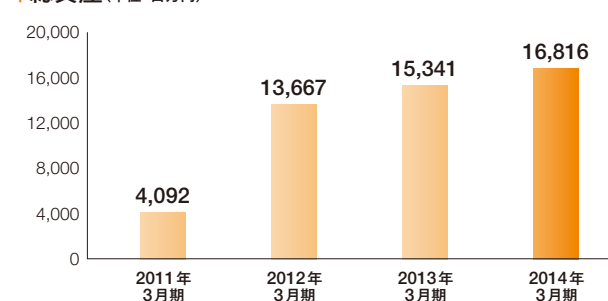
経常利益(単位:百万円)



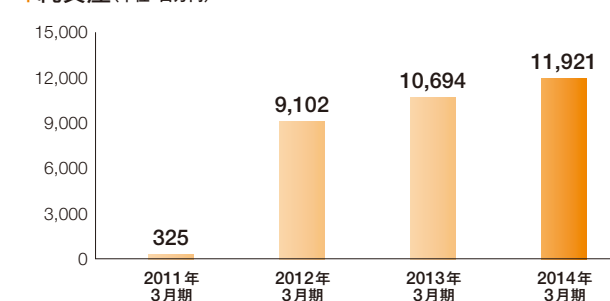
当期純利益(単位:百万円)



総資産(単位:百万円)



純資産(単位:百万円)

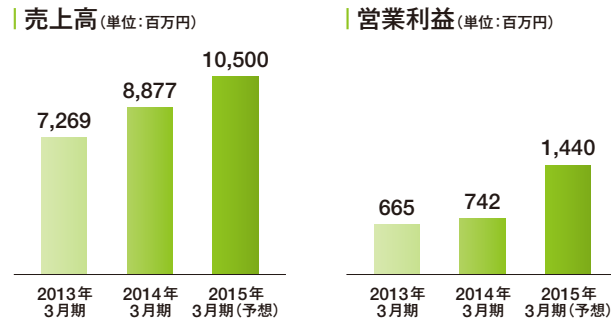
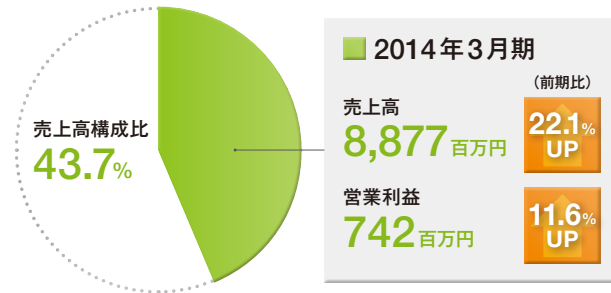


※2011年3月期は、旧(株)マーベラスエンターテインメント単独の業績となります。

※2012年3月期の連結業績は、2011年10月1日の合併により、旧(株)マーベラスエンターテインメントのみの上期業績と合併後の(株)マーベラスAQLの下期業績の合算数値となります。

# オンライン事業 Online Game Business

多彩なプラットフォームに向け、オリジナルIPや他社有力IPを活用したゲームを企画・開発・制作・販売



## 2014年3月期の実績

### 新規タイトルの投入により増収増益

- 「剣と魔法のログレス いにしへの女神」が当社アプリゲームとして初のヒット
- 既存ブラウザゲームが堅調
- 国内・海外を合わせて一部不採算タイトルを中止 開発費を一括償却

## 2015年3月期の取り組み

- 「剣と魔法のログレス いにしへの女神」の更なるヒットに注力
- ネイティブアプリを中心とした新規タイトルの企画・開発
- 既存主力タイトルの維持強化

### タイトル展開

ブラウザ三国志 (PCブラウザ)



©MarvelousAQL Inc.

一騎当千バーストファイト (モバイルブラウザ)



©2011 塩崎雄二・ワニブックス / 一騎当千集英館・血風録/パートナーズ ©MarvelousAQL Inc.

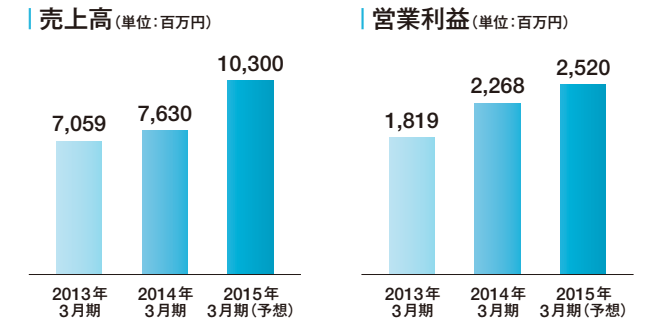
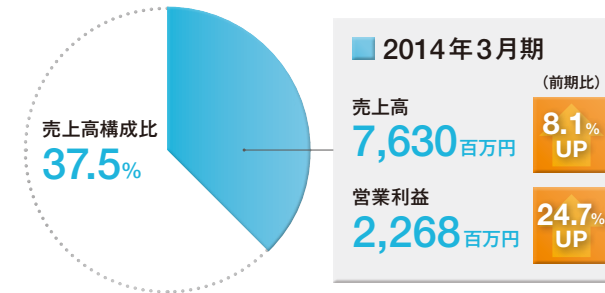
剣と魔法のログレス いにしへの女神 (ネイティブアプリ)



©MarvelousAQL Inc. Aiming Inc.

# コンシューマ事業 Consumer Game Business

家庭用ゲーム機向けゲームソフト、アミューズメント施設向けゲーム機の企画・開発・制作・販売



## 2014年3月期の実績

### 各タイトルが好調に推移し、増収増益

- ポケモンレツタが通年にわたり好調な業績推移
- 「牧場物語 つながる新天地」が、シリーズ最高のスタート
- 旧作リピーター受注が上期業績と高い利益率を牽引

## 2015年3月期の取り組み

- 「閃乱カグラ」シリーズから新作2作品を発売
- 「IA/VT -COLORFUL-」、「禁忌のマグナ」ほか、多数の新作タイトルを編成
- キッズアミューズメント新作「バズドラZ テイマーバトル」を今夏より投入

### タイトル展開

牧場物語 つながる新天地 (3DS)



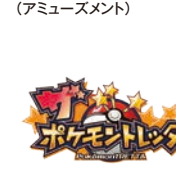
©2014 MarvelousAQL Inc. All Rights Reserved. SUPER MARIO items © 2014 Nintendo.

閃乱カグラ2 -真紅- (3DS)



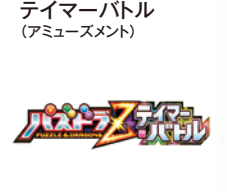
©2014 MarvelousAQL Inc.

ポケモンレツタ (アミューズメント)



©2014 Pokémon. ©1995-2014 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc. Developed by T-ARTS and MAQL

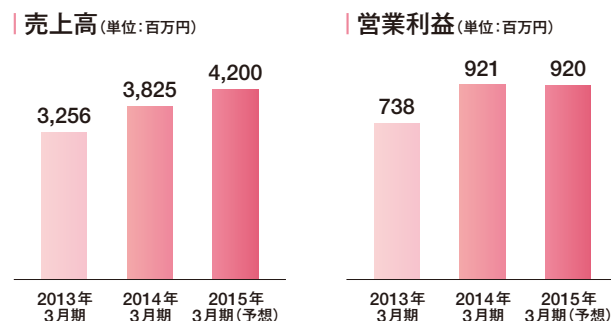
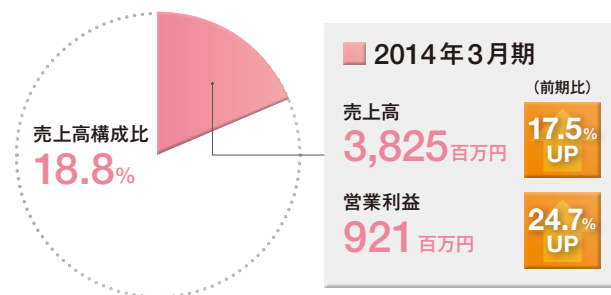
バズドラZ テイマーバトル (アミューズメント)



©GungHo Online Entertainment, Inc./MarvelousAQL Inc.

# 音楽映像事業 Audio & Visual Business

音楽・映像等多様なコンテンツの  
企画・プロデュース・制作・販売、及び、  
舞台・ミュージカルの企画・制作・興行



## 2014年3月期の実績

### シリーズ作品が好調推移し、増収増益

- 10年を経た主力定番コンテンツ「プリキュア」シリーズ、「ミュージカル『テニスの王子様』」シリーズが堅調推移
- 「舞台『弱虫ペダル』」が公演を増すごとに人気拡大、チケットは完売、関連DVD販売も好調
- 「ミュージカル『薄桜鬼』」シリーズ、所属アーティスト「vistlip」、新作主幹事アニメ「やはり俺の青春ラブコメはまちがっている。」も堅調

## 2015年3月期の取り組み

- 主力の「プリキュア」シリーズ、「ミュージカル『テニスの王子様』」シリーズは、引き続き傾注
- 第3の柱となった「舞台『弱虫ペダル』」を更なるヒットコンテンツへ育成
- 新規アニメ「東京喰種トーキョーグール」、「幕末Rock」に期待
- 「ミュージカル『薄桜鬼』」シリーズ、「舞台『K』」などライブエンターテインメント分野にもさらに注力

### タイトル展開

ハピネスチャージプリキュア!



©ABC・東映アニメーション

ミュージカル『テニスの王子様』  
全国大会 青学vs氷帝



©許斐剛/集英社・NAS・新テニスの王子様プロジェクト  
©許斐剛/集英社・テニミュ制作委員会

舞台『弱虫ペダル』インターハイ篇  
The Second Order



©渡辺航(週刊少年チャンピオン)2008  
©渡辺航(週刊少年チャンピオン) /  
マーベラスAQL、東宝、ディー・バイ・エル・クリエイション

# 連結財務諸表(要約)

## 連結貸借対照表 (単位:百万円)

区分	期別	
	前期 2013年3月31日現在	当期 2014年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	12,593	<b>14,583</b>
固定資産	2,748	<b>2,233</b>
有形固定資産	611	<b>533</b>
無形固定資産	1,368	<b>1,157</b>
投資その他の資産	767	<b>541</b>
資産合計	15,341	<b>16,816</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	4,570	<b>4,840</b>
固定負債	76	<b>54</b>
負債合計	4,647	<b>4,895</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	10,700	<b>11,914</b>
資本金	1,128	<b>1,128</b>
資本剰余金	6,373	<b>6,373</b>
利益剰余金	3,226	<b>4,440</b>
自己株式	△27	<b>△27</b>
その他の包括利益累計額	△6	<b>6</b>
純資産合計	10,694	<b>11,921</b>
負債純資産合計	15,341	<b>16,816</b>

## 連結損益計算書 (単位:百万円)

区分	期別	
	前期 2012年4月1日から 2013年3月31日まで	当期 2013年4月1日から 2014年3月31日まで
売上高	17,579	<b>20,330</b>
売上総利益	8,116	<b>9,946</b>
営業利益	2,329	<b>3,006</b>
経常利益	2,325	<b>3,041</b>
税金等調整前当期純利益	2,325	<b>2,982</b>
当期純利益	1,919	<b>1,882</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

区分	期別	
	前期 2012年4月1日から 2013年3月31日まで	当期 2013年4月1日から 2014年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	2,817	<b>3,852</b>
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,130	<b>△634</b>
財務活動による キャッシュ・フロー	△975	<b>△873</b>
現金及び現金同等物の 期末残高	5,723	<b>8,120</b>

### POINT

#### 純資産

配当により利益剰余金が減少したものの、当期純利益等の計上により、前連結会計年度末に比べ1,226百万円増加し、11,921百万円となりました。

#### 自己資本比率

自己資本比率は69.7%から70.9%となり財務健全性が一層高まりました。

マーベラスひろば



株主様と当社のコミュニケーションコーナーです。

企業ホームページ  
最優秀サイト

2013  
日興アイ・アール  
総合ランキング

当社ホームページが「最優秀サイト」に選定されました。

当社のホームページが、日興アイ・アール株式会社が選定する「2013年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング調査」の総合ランキングにおいて最優秀サイトに選出されました。

今後も、株主・投資家の皆様に対処のご理解をより深めていただけるよう、情報開示の充実に努めてまいります。

マーベラス

URL <http://www.marv.jp/> (7月1日以降)  
<http://www.maql.co.jp/> (6月30日まで)



▲ コーポレートサイト



▲ IRサイト



▲ 個人投資家サイト

「メール配信」に  
是非ご登録ください

メール配信をご登録された皆様には、新着情報をメールでお知らせいたします。当社ホームページ「IR情報」内の「メール配信」にてご登録いただけますので、是非ご活用ください。

アンケートへのご協力をお願い致します。

「Business Report」をご覧いただき、誠にありがとうございます。当社では、株主の皆様のご意見を今後の紙面構成やIR活動に反映させるよう努めてまいりたいと考えております。大変お手数ではございますが、同封のアンケートはがきにてご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。



1 必要事項を記入



2 そのままポストに投函(切手不要)

株式情報 (2014年3月31日現在)

株式の状況

発行済株式の総数	53,593,100株
株主総数	9,743名

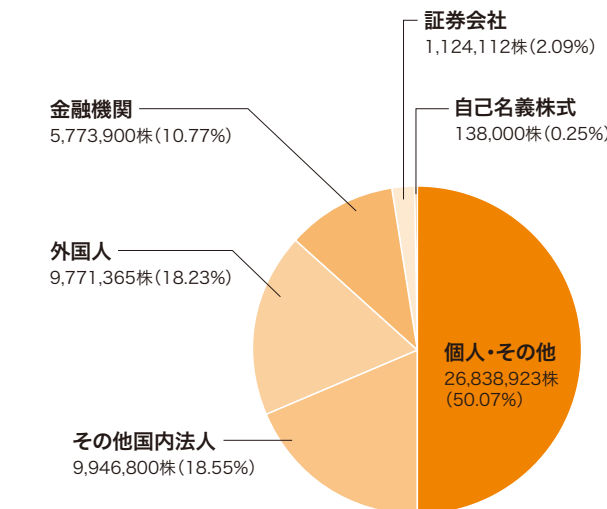
大株主の状況

(株主名)	(所有株式数の割合)
中山 隼雄	18.32%
株式会社アミューズキャピタル	12.50%
中山 晴喜	10.22%
ドイチェ バンク アーゲー ロンドン ビービー ノントリティークライアント 613	3.68%
株式会社アミューズキャピタルインベストメント	3.43%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2.68%
クレディ・スイス・セキュリティーズ(ヨーロッパ)リミテッド ビービー オムニバス クライアント アカウント	2.59%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2.33%
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMUNIBUS-MARGIN (CASH PB)	2.32%
ビーエヌワイエム エスエーエヌバイビーエヌワイエム クライアント アカウント エムピーシーエス ジャパン	1.68%

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	3月31日 (そのほか必要がある場合は 予め公告いたします)
期末配当金受領 株主確定日	3月31日 (なお、中間配当を実施する場合) の株主確定日は9月30日)
公告方式	電子公告により行います。 URL: <a href="http://www.marv.jp/">http://www.marv.jp/</a> (7月1日以降) <a href="http://www.maql.co.jp/">http://www.maql.co.jp/</a> (6月30日まで) ただし、電子公告によることができない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

所有者別株式分布状況



※円グラフの数値は小数点以下第3位を切り捨てているため合計が100%にならない場合があります。

株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 受付時間	0120-288-324(フリーダイヤル) 土・日・祝日を除く9:00～17:00
ホームページURL	<a href="http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou">http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou</a>